

第5回新丹波猿樂座特別公演

新作能「貂の皮」を堂々披露！

黒井城主だった赤井（荻野）直正が登場する司馬遼太郎の小説「貂の皮」を能にして上演するイベント「スペクタクル新作能『貂の皮』×甲冑隊 in 丹波」が11月3日、兵主神社で行われました。

境内に特設ステージを組み、総勢17人の能楽師とともに、地元の黒井城甲冑隊^{あつし}からも出演しました。

能楽師の上田敦史さんが手掛けた新作能で、羽柴（豊臣）秀吉の命を受けた脇坂甚内が、赤井直正に降伏開城を説くべく黒井城に乗り込むという、小説を題材にしたストーリー。能の上演前には春日戦国太鼓の演奏や、春日郷土民踊保存会による「黒井おどり」の披露など様々な催しが行われました。また、同会場には戦国時代、武者が戦を前に茶を飲み、心を静めたという言い伝えにちなみ、市茶華道会による茶席が設けられ、来場者は秋晴れのもと優雅なひとときを過ごしました。

黒井城跡地域活性化委員会代表の吉住孝信さんは「直正ゆかりの兵主神社でイベントが無事に成功して良かった。今後もイベントを通して皆さんと一緒に地域を盛り上げたい」と話しました。



新作能「貂の皮」甲冑隊との熱演



お茶を楽しむ参加者

丹波市産木材の魅力を伝える体験型施設 FORESTDOR しくらがリニューアル



新たに展示された木のおもちゃで遊ぶ参加者

10月16日、「FOREST DOOR- しくら」がリニューアルオープンしました。同施設は廃校舎の旧神楽小学校を活用し、令和元年5月に丹波産木材などの需要拡大を目的としてオープンした施設です。今回新たに木のコワーキングスペース、木の研修施設などの5つの施設が追加されました。

木の研修室でヨガ体験に参加した植野さんは「木の香りを感じながら精神統一でき、いつも以上にリラックスできた」と話しました。

3年ぶりに懐かしい車が丹波に集結！ クラシックカーフェスティバル

10月30日、市役所春日庁舎駐車場で「第22回中兵庫クラシックカーフェスティバル in かすが」開催されました。

コロナ禍の影響を受け、3年ぶりの開催になり、全国各地から自慢の愛車142台のクラシックカーが一堂に集結しました。

見学者は「昭和の車を見たいと思い訪れた。どの車も当時を思い出して懐かしい」と話しました。



ずらりと並ぶクラシックカーに見入る参加者ら

永年の功績・善行をたたえて
もみじ賞・かたくり賞を表彰



もみじ賞・かたくり賞を受賞した皆さん

11月3日、市政発展のために、永年にわたる献身的な活動や市民の模範となる活動をされた9人に対し、その功績をたたえ、令和4年度のもみじ賞・かたくり賞が贈られました。

受賞者は、もみじ賞が大野亮祐さん、藤原昌成さん、細見俊晴さん、足立成美さん、植木政行さん、田中徹さん、不破一浩さん、かたくり賞が池田一一さん、梅垣恭子さんでした。

3年ぶりに帰ってきた秋の最大市民イベント
丹波GO！GO！フェスタ開催



瓦割りに挑戦する参加者

10月23日、丹波の森公苑で「丹波GO！GO！フェスタ」が開催されました。3年ぶりの開催となった今回は約5,000人が来場者し、飲食物販や子どもたちが楽しむ職業体験などには行列ができていました。

また、同会場には34の市内事業所・団体がブースを設けた「市産業交流市」もあり、多くの来場者で賑わいをみせていました。

キッズチャレンジのブースで瓦割りに挑戦した参加者は「痛かったけど、瓦が割れて楽しかった。面白い経験ができた」と話しました。

昨年のモンブランのギネス世界記録挑戦に続き
市内3高校合同によるプロジェクトが始動

市内の高校3校合同による「ランタンフェスティバル」プロジェクト事業。多くの市民参加を目指し、10月28日、代表の2人が市長を訪問し、12月18日（日）の開催に向けて現状の課題を報告し、広報など市に協力を求めました。

訪問した2人は「市長のサポートを受けとても心強いです。高校生の力でイベントを盛大に盛り上げます。」と意気込みました。



イベントチラシを林市長に手渡す谷垣葵衣さん（中央）と稲川詩音さん（左）

令和4年度 防犯標語・ポスター
余田さん、井本くんが市長賞受賞

10月16日、ゆめタウンで地域安全の一環として募集された防犯標語・ポスターの入賞者表彰式が行われました。ポスターの部で東小学校6年生の余田凛夏さん、標語の部で崇広小学校4年生の井本一吹希くんが受賞しました。

それぞれの作品について、余田さんは「おじいちゃんやおばあちゃんがだまされないようにと願いを込めて描きました」井本くんは「自分も気をつけようと思って考えました」と思いを話しました。



表彰状を手に笑顔を見せる余田さん（中央）と井本くん（右）